

インディアナ日本語学校便り だいごう 第3号

令和6年5月4日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

「第45回海外子女文芸作品コンクール」 ～小中学生対象作文・詩・短歌・俳句4部門～

校長 森 勝義

令和6年度、「第45回海外子女文芸作品コンクール」の案内が日本語学校に届きました。本校は毎年、多くの作品を海外子女教育財団へ送り、応募しています。昨年は短歌部門で賞をいただきました。

児童生徒の皆さん、ぜひ積極的に応募してください。「心に思ったこと」を「たくさん書く」と書く力が身についてきます。スピーチと文章を書くことは、似て非なるものです。よくしゃべることができても、文字を覚えたばかりの1年生を考えたらよくわかります。

文章の要諦である「4W1H」も、入学時の児童は理解できません。1年生の作文は「したこと、見たこと」から始まり、次に「聞いたこと」を書けるようになります。低学年の「絵日記」がなぜいいか、というと、同じ表現力だからです。絵と文章をつなぐ「架け橋」とも言えます。

書く力をつける秘訣は、まずは「たくさん書く」「たくさん書ける」ようになることです。そのための大きなステップとして「思ったことを書ける」ようになることがあります。心に思い浮かんだことを書けるようになると、書く量が飛躍的に増えます。書く機会を設けるには、絵日記から日記へと転換していきませんが、すぐにたくさん書けることにはつながりません。日記では日々の出来事の中から「4W1H」と「うれしかった」「たのしかった」などの、心に残ったことが書ける、ということです。日記のよさは、毎日とはいかないまでも、続けていくことに価値があります。たくさん書いたら褒める。思ったことが次から次へと書けるようになると「想像力」も養われます。書くことは心を耕すことにもつながります。

自分がどの分野で応募するか、まずはじっくり考え、複数チャレンジしてみてもはどうでしょうか。応募については、担任に話を聞いてください。

2023年度「短歌部門」佳作作品

旧中学1年 佐藤 開治さん

「宿題をつくつくほうしに せかされる そんなに急ぐな まだ夏休み」

訃報

悲しいお知らせです。

幼稚部のテイモンズアイザック君が4月24日、ご自宅でお亡くなりになりました。ご両親の「アイザックの存在があったんだ、忘れてほしくないです」というご意思で、学校だよりに掲載しました。謹んでアイザック君のご冥福をお祈りいたします。

児童の作品

「楽しかったバスケットボールのしあい」

4年1組 赤木 碧海

春休みにたのしかったのは、バスケットボールのしあいを見に行ったことです。さいしょは、バスケットボールにきょうみがなかったけどしあいを見たら、とっても楽しかったからです。はじめて見たバスケットのしあいのスタジアムの中はひろくてすごかったです。そして、家族は、めちやくちやもりあがっていました。おうえんしていたペイサーズは負けてしまってくやしかったけれど、またチャンスがあると思いました。また今度しあいを見る時は、おうえんしているペイサーズが勝ってほしいです。

「春休みの旅行」

4年1組 加賀美 凜

わたしは、春休みにニューヨークとワシントンDCへ行きました。ニューヨークでは、毎日晴れだったので、一日目は、公園で遊びました。そのあと、自由の女神をみる船に乗り、つづいてグランドゼロの場所へ行きました。ワシントンDCでは、毎日雨だったので、はくぶつ館に行きました。はく物館のしゅるいは、飛行きとうちゅうはく物館です。飛行きはく物館では、うちゅうへ行った飛行きがありました。とくにおもしろかったのは、ワシントンDCから日本まで三時間で飛ける飛行きです。

ニューヨークへ行く時は、ぜひグランドゼロと自由の女神の船、ワシントンDCでは、飛行きとうちゅうはく物館へ行くことをおすすめします。

「お兄ちゃんがきた！」

4年1組 中田 絆

春休みにお兄ちゃんがアメリカへ来ました。わたしは、お兄ちゃんが来る事を知りませんでした。だから空港でお兄ちゃんと会った時、うれしくてゆめかと思いました。

家に帰ってお兄ちゃんとスマブラをしました。ひさしぶりにいっしょにスマブラをしたけど負けてしまいました。だけど楽しかったです。

そしてお父さんがお休みの時、家族でニューヨークへ行きました。自由の女神を見ました。とても大きくて作った人たちは、すごいなと思いました。お兄ちゃんと船にのったり、ごはんを食べたり、いろんな場所へ行けて楽しかったです。お兄ちゃんは、もう日本に帰ったのでわたしはさびしくてかなしいです。でも日本に、帰ったらお兄ちゃんといっばい遊びたいです。



ヒゲ森の言葉の森・探検



いしよく どうげん

医食同源

「医食」は医薬と食物。薬も食べ物も同じように体に作用し、良い食べ物は薬になるということ

楽天家は困難の中にチャンスを見出す。

悲観論者はチャンスの中に困難を見る。

ウイストン・チャーチル

1874年～1965年 イギリスの政治家、小説家。
幾多の困難が現れても突破口を見つけようとする姿勢さえあればチャンス扉を開くことができる。